

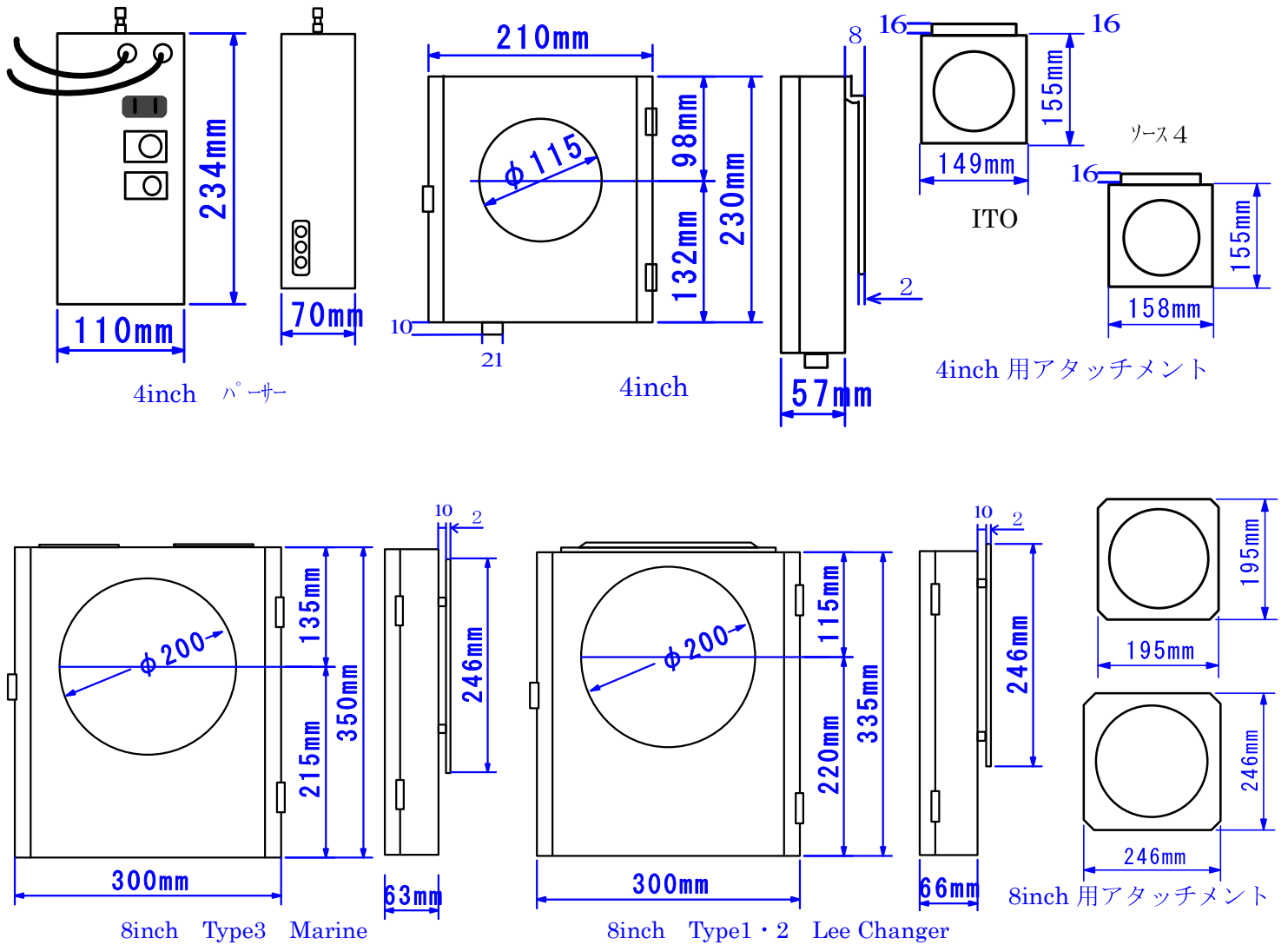
パネルライトカラーチェンジャー  
 8灯カラーチェンジャー  
 8インチカラーチェンジャー  
 Pre64・6インチ灯体 ets  
 4インチカラーチェンジャー  
 ITO・ソース4



アタッチメント交換により 8  
 インチ・6インチ、ITO・ソース  
 4での使用が可能です。



# COLOR CHANGER



※ 本体内に電源部を内蔵

## Data List

8 inch  
 Type1 (センサータイプ Hi-Low only)  
 Type2 (センサータイプ DMX 対応)  
 Type3 (センサーレスタイプ DMX 対応)

使用電圧 100V  
 消費電力 0.5A  
 制御信号 Type1 専用信号  
 Type2・3 専用信号または DMX 512

信号ケーブル 3Pキヤノン Pin1 N Pin2 - Pin3 +  
 電源ケーブル モーター電源 0.2 A 平行 ケーブル長さ 2m  
 サイズ 詳細参照  
 重量 Type1・2 2.5 kg Type3 3kg  
 カラー 全12色 Leeフィルター使用  
 チェンジスピード Type2 1色 / 0.5 ~ 1秒  
 1色 ~ 12色 / 4 ~ 12秒  
 Type3 1色 / 0.5 ~ 45秒  
 1色 ~ 12色 / 2 ~ 360秒

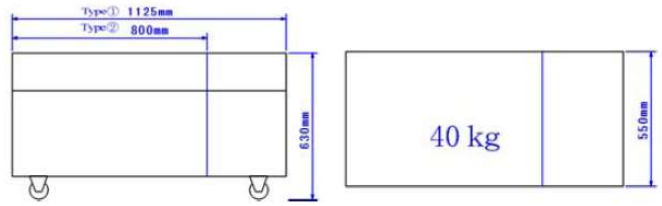
ケース type1はチェンジスピードが変えられません!  
 ① 1125 × 630 × 550 (キャスター含) 12台入り  
 ② 800 × 630 × 550 (キャスター含) 6台入り

自社システム 専用コントローラー 12ch・36ch リピーター  
 ターミネーター各種

4 inch  
 使用電圧 100V  
 消費電力 0.5A  
 制御信号 専用信号または DMX 512  
 信号ケーブル 3P Pin1 N Pin2 - Pin3 +  
 電源ケーブル モーター電源 0.2 A 平行 ケーブル長さ 2m  
 サイズ 詳細参照  
 重量 本体 1.5 kg パーサー 2.0kg  
 カラー 全12色 Leeフィルター使用  
 チェンジスピード 1色 / 0.5 ~ 1秒  
 1色 ~ 12色 / 3 ~ 7秒

ケース ① 1125 × 630 × 550 (キャスター含) 12台入り  
 ② 800 × 630 × 550 (キャスター含) 6台入り

自社システム 専用コントローラー 12ch・36ch リピーター  
 ターミネーター各種



## DMXパラメーター

Color	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
0 ~ 100V	0	11	20	28	36	44	52	60	68	76	85	95
%	0%	10%	18%	27%	36%	44%	51%	61%	71%	79%	87%	96%

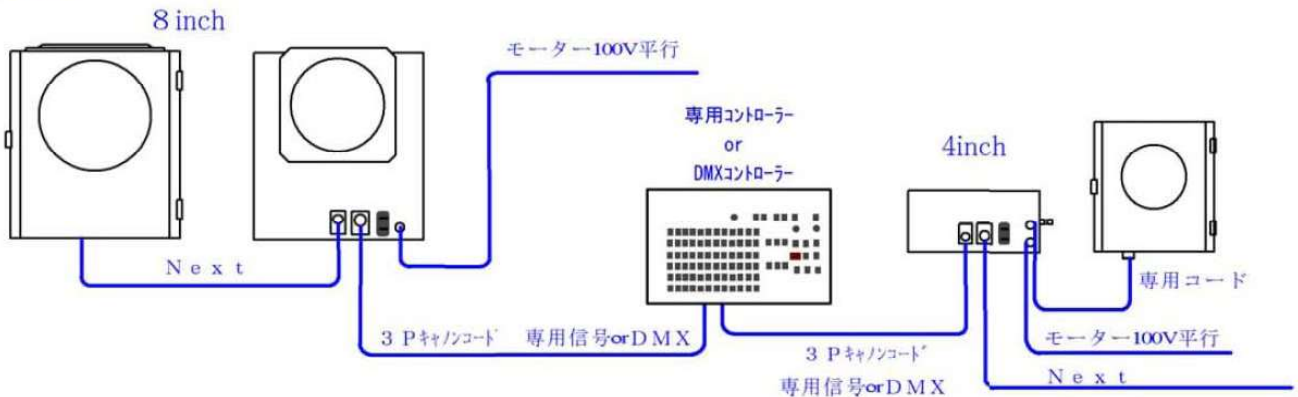
1・101・201・301・401・501 は以後の99アドレスのスピードになりますのでアドレス設定はできません。  
 これ以外のアドレス設定を行ってください。 例 101 は 102 ~ 200 までのスピードを制御  
 上記の表は目安です。微調整が必要な場合もあります。

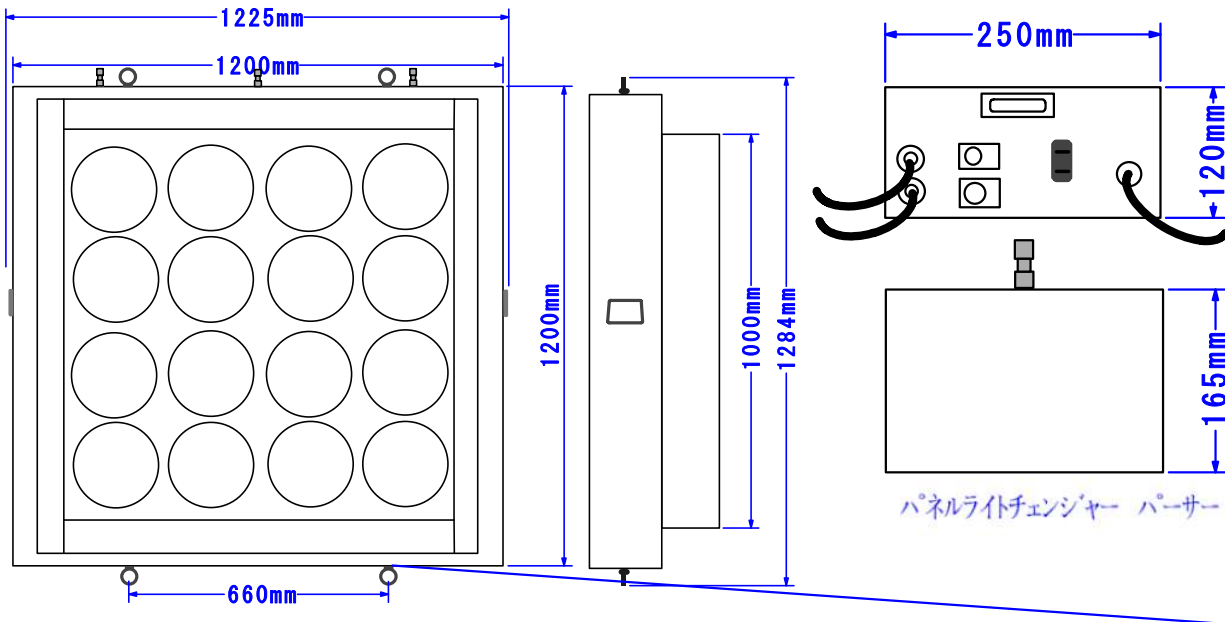
## Color List

	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
ダミー	Lee 202 CON	HT036 Pi	HT052 Lla	HT004 Lam	HT058 La	HT118 LB	HT010 Y	Lee 124 G	HT021 Am	HT181 DB	HT026 R	Lee 130 W	ダミー

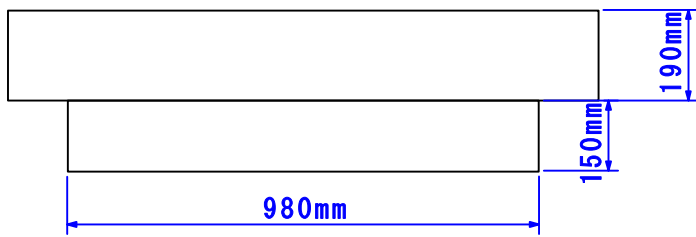
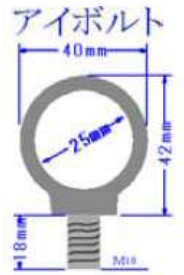
4/8inch とも

## System

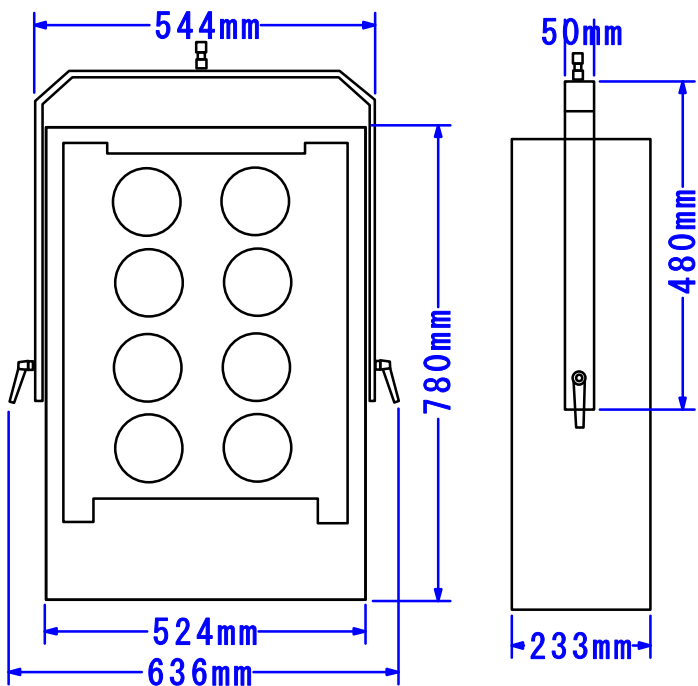
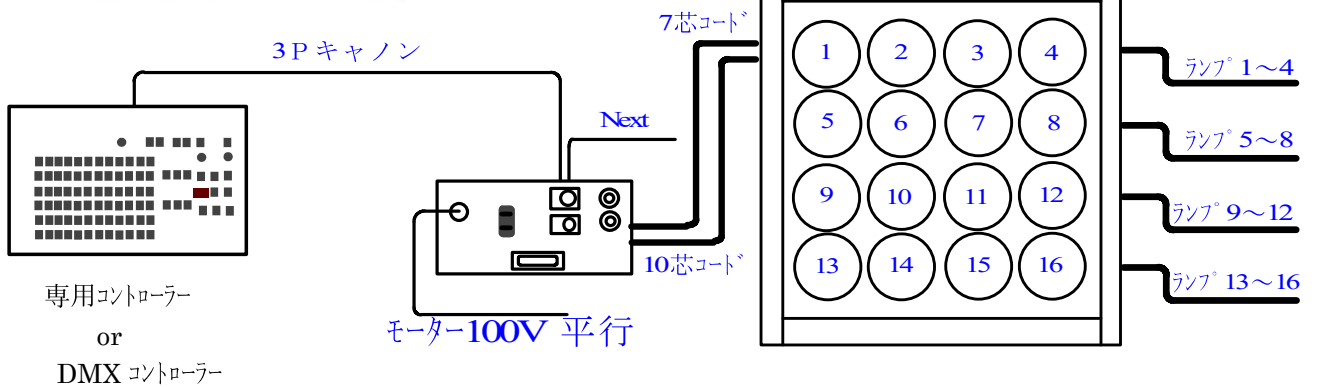




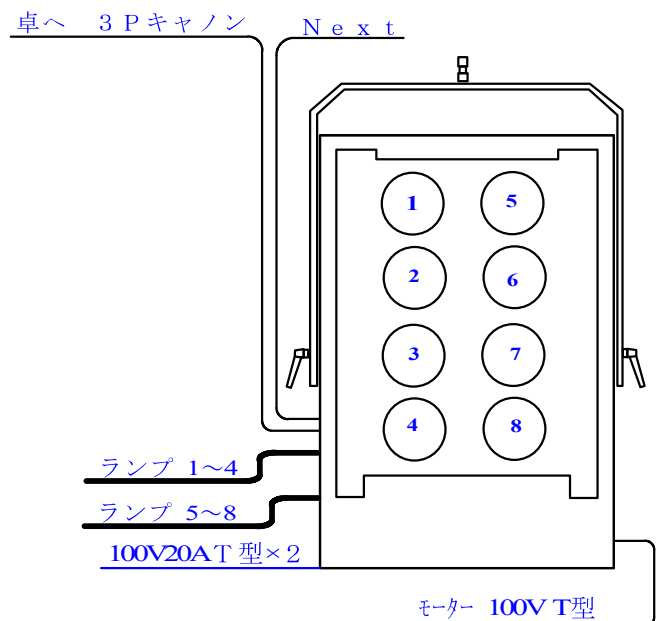
パネルライトチェンジャー パーサー



パネルライトチェンジャー



8灯カラーチェンジャー



※ 本体内に電源部を内蔵

## Data List

### パネルライトカラーチェンジャー

使用電圧	100V
消費電力	ランプ 1回路20A モーター 2A
ランプ	PAR 64 500Wナロー (フェザ'-N) × 16
制御信号	専用信号またはDMX 512
信号ケーブル	3Pキャノン Pin1 N Pin2 - Pin3 + 本体-パーサー間 専用ケーブル×2 長さ 5m
電源ケーブル	ランプ電源 30 A C型×4 ケーブル長さ 1.5m (平行×16回路をC-平行4又でパッチ) モーター電源 15 A 平行 ケーブル長さ 2m
サイズ	本体 W1200 × H1200 × D340mm 詳細参照 パーサー W250 × H165 × D120mm 詳細参照
重量	本体 80 kg パーサー 4.5kg
カラー	全7色 Leeフィルター使用
チェンジスピード	1色/1～30秒 1色～7色/8～120秒
ケース	1320 × 1325 × 922 (キャスター含む) 2台入り
自社システム	専用コントローラー 12ch・36ch ターミネーター各種 リピーター アイボルト上2下2 1kダボ上3

### 8灯カラーチェンジャー

使用電圧	100V
消費電力	ランプ 1回路20A弱 モーター 1.5A
ランプ	PAR 36 125V-650W GE (100V-500W弱)
制御信号	Tayp1 専用信号 Tayp2 専用信号またはDMX 512
信号ケーブル	3Pキャノン Pin1 N Pin2 - Pin3 +
電源ケーブル	ランプ電源 20 A T型×2 ケーブル長さ 80cm モーター電源 1.5A T型 ケーブル長さ 2m
サイズ	本体 W524 × H1200 × D233mm 詳細参照
重量	本体 23 kg
カラー	全7色 Leeフィルター使用
チェンジスピード	1色/0.3～1秒 1色～7色/2～4秒
ケース	990 × 850 × 910 (キャスター含む) 2台入り
自社システム	専用コントローラー 12ch・36ch リピーター ターミネーター各種 1kダボ 1k鉄ハンガー使用

カラーレベル

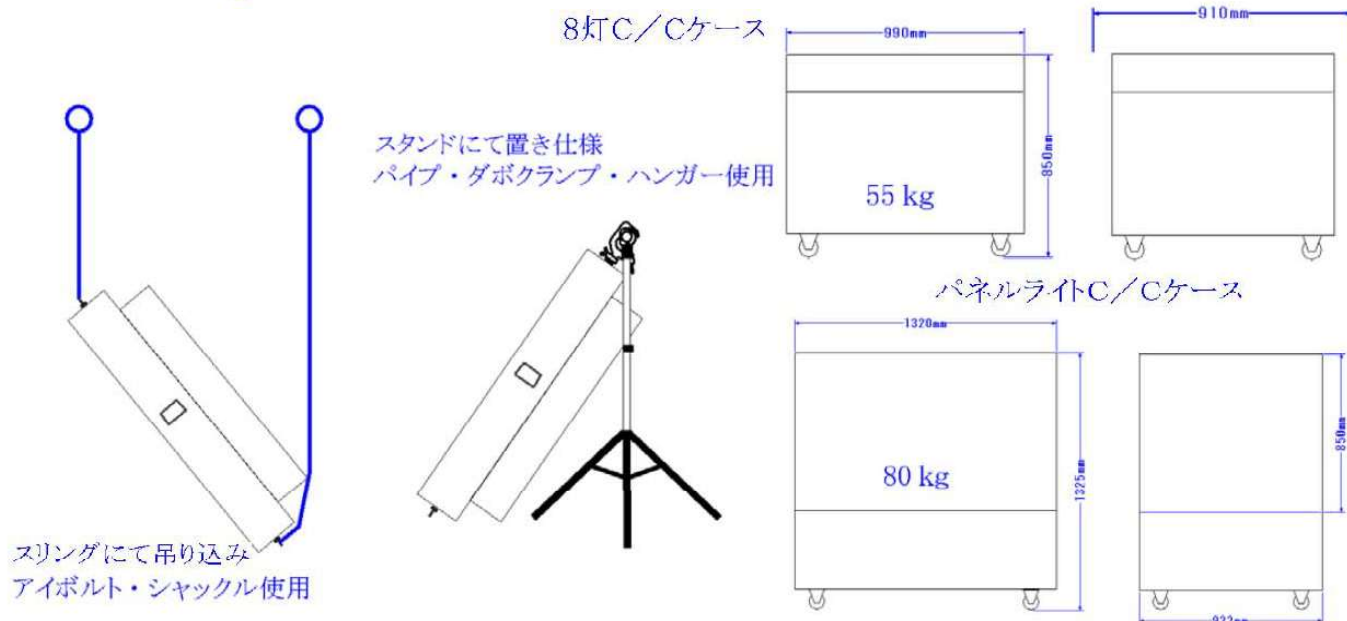
Color	1	2	3	4	5	6	7
0～100V	0	30	56	67	77	87	100

001・100・200・300・400・500 は以後の99アドレスのスピードになりますのでアドレス設定はできません。  
 これ以外のアドレス設定を行ってください。 例 100 は 101～199 までのスピードを制御  
 上記の表は目安です。微調整が必要な場合もあります。

## Color List

7	6	5	4	3	2	1
Lee HI058 La	Lee HI010 Y	Lee 124 G	Lee HI021 Am	Lee HI181 DB	Lee HI026 R	Lee 130 W

## Panel Setting・Case Size



## カラーチェンジャーマニュアル

カラーチェンジャーには2種類のタイプがあります。金属や光に反応するセンサーを利用してフィルター位置を制御している **センサータイプ** と、ローラーの巻き取り数で制御している **センサーレスタイプ** です。基本的には殆ど同じ様な取り扱い方になりますが、DMX調光卓で制御する時は違ってきます。

サイズ的には4種類あります。64や56のPARライトで使用する **8インチカラーチェンジャー** と、1TOや36のPARライトで使用する **4インチカラーチェンジャー** の様な”普通の灯体”にセットするものと、8灯ミニブルートと一体型(取り外し不可)になっている **8灯カラーチェンジャー** と、フェザーライトが縦4列・横4列に並んでいる **パネルライトチェンジャー** です。

全てのカラーチェンジャー(以下C/C)の操作線は3Pキャノンで、他の種類のC/Cと同じラインでつないでも問題ありません。専用コントローラーを使用すれば簡単に操作出来ます。

それでは、ざっと各C/Cの説明をしたいと思います。

## ★8インチカラーチェンジャー★

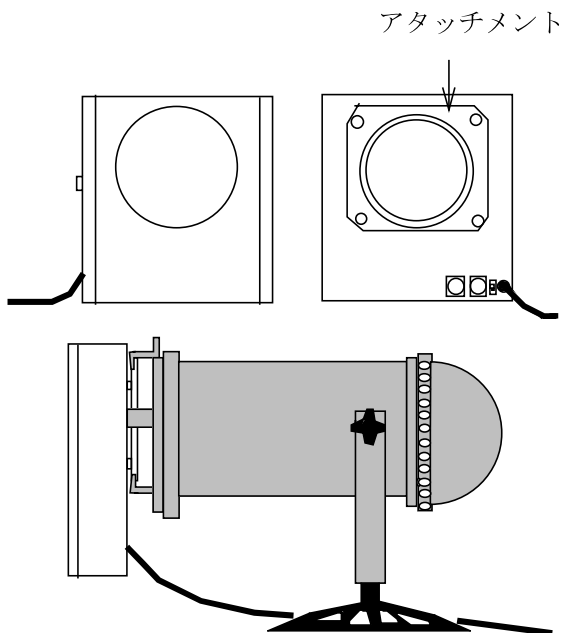
PARライトなどの灯体部のシート枠挿入部にカラーチェンジャー本体のアタッチメントを入れてセットします。(シートを入れるのと同じ手順です。)アタッチメントには8インチ用と6インチ用の2種がありますので、交換すれば使用範囲が広がります。

仕様のな面で分けると3タイプ有ります。まずは専用コントローラーでしか動かせず、センサー付きでスピード切り替えが“速い・遅い”の2種類しかない『High-Low』型と、DMX卓でも操作できるセンサー付きの『DMX』型、センサー無しでDMX卓でも操作できる『センサーレス』型です。

全て電源内蔵型ですので、本体から約2m程出ている平行口の電源コードから電源を供給して下さい。サービスコンセントも付いていて、10台までつなげて大丈夫です。

色は12色仕様になっています。(センサーレス型は色位置調整が出来る為、色数を少なくしても使用できます。)

重量は約2.5Kgで、寸法は335×300×78mm(センサーレスは微妙にサイズが違っていますが殆ど同じ)です。



## ★4インチカラーチェンジャー★

本体と電源部が分かれており、本体は非常にコンパクトで4インチの灯体でも邪魔になりません。

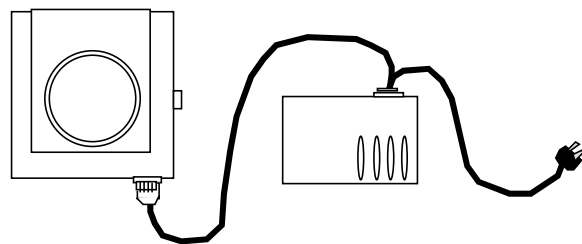
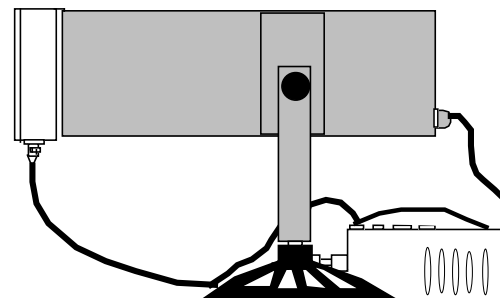
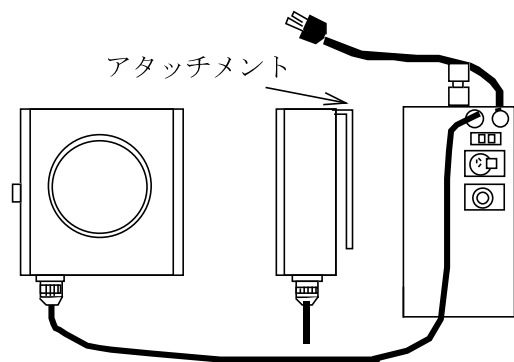
取り付け方法は本体アタッチメントをシート枠挿入部分に差し込んでセットします。アタッチメントはI T O・絵夢ライトS (M D S製) 用と、Source IV用があります。

DMX卓でも操作できるセンサー付きタイプで、本体をパーサー(電源部)から出ている信号ケーブルでつなぎ、パーサーから出ている平行口のコードで電源を供給して下さい。(これにもサービスコンセントが付いています。)

色は12色仕様になっています。これは8インチC/Cを基準にするとセンサーが逆さまに付いていますので、色を入れる時などはお気を付け下さい。

重量は本体が約1Kg、パーサーが約2Kgで、本体寸法が210×216×63mm、パーサー寸法が110×234×70mmです。

信号ケーブル及び電源ケーブルは約2m程の長さがあります。



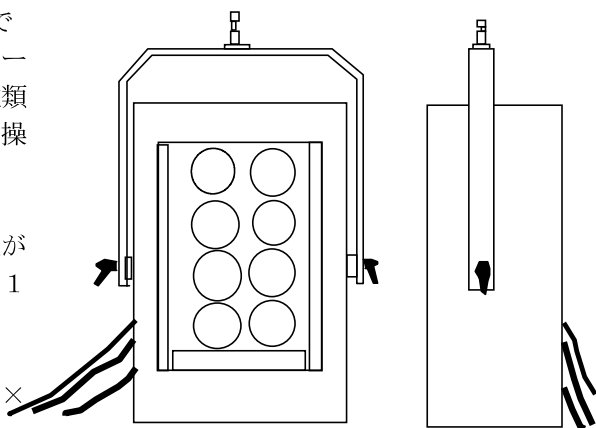
## ★8灯ミニブル付きカラーチェンジャー★

8灯ミニブルとC/Cが一体化したものでC/Cは取り外しできません。専用コントローラーでしか操作できず、スピードが速い・遅いの2種類の調整になる『High-Low』型と、DMX卓でも操作できる『DMX』型の2種類があります。

金属センサー付きの7色仕様になっています。

電源部は内蔵されており、ミニブル用電源がT口×2本と、C/C用の電源ケーブル(細)が1本(これもT口です)出ています。

重量が23Kgで、寸法は635×236×870mmです。



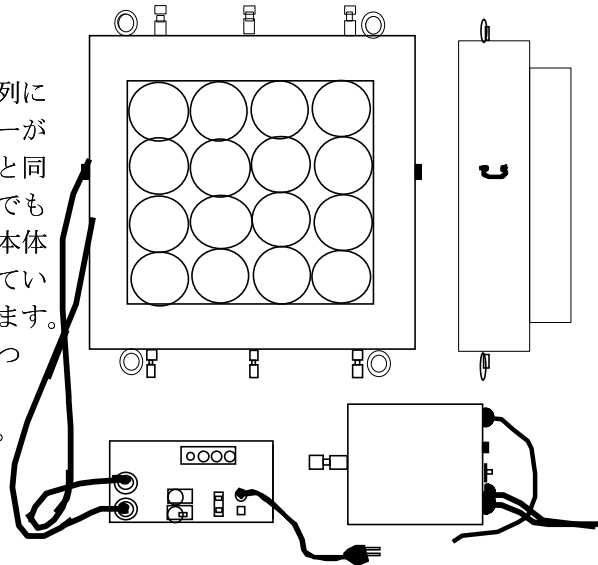
このミニブルには、普通の100V球ではなく、GEの“120V650W(100Vで使用すると、ほぼ500W)”のメディアムか、ACL球を使用します。もし普通の5M球などを入れてしまいますと、フィルターがすぐに熱で溶けて破れてしまいます。

## ★パネルライトチェンジャー★

500Wのフェザーナローが縦4列、横4列に16灯付いたパネルライトにカラーチェンジャーが付きまして、本体は大きいですが、他のC/Cと同じコントローラーで操作できますし、DMX卓でも操作可能なセンサーレスタイプのC/Cです。本体と電源部が分かれている為、電源BOXから出ている2本の信号ケーブルをつないで電源を供給します。

信号ケーブルは約5mあります。ランプは1つ1つのミラーから平行口のコードが出ており、C-平行で普段横1列ずつパッチしてあります。

7色仕様でセンサーレスの為、色のつなぎ目で止める事もできます。



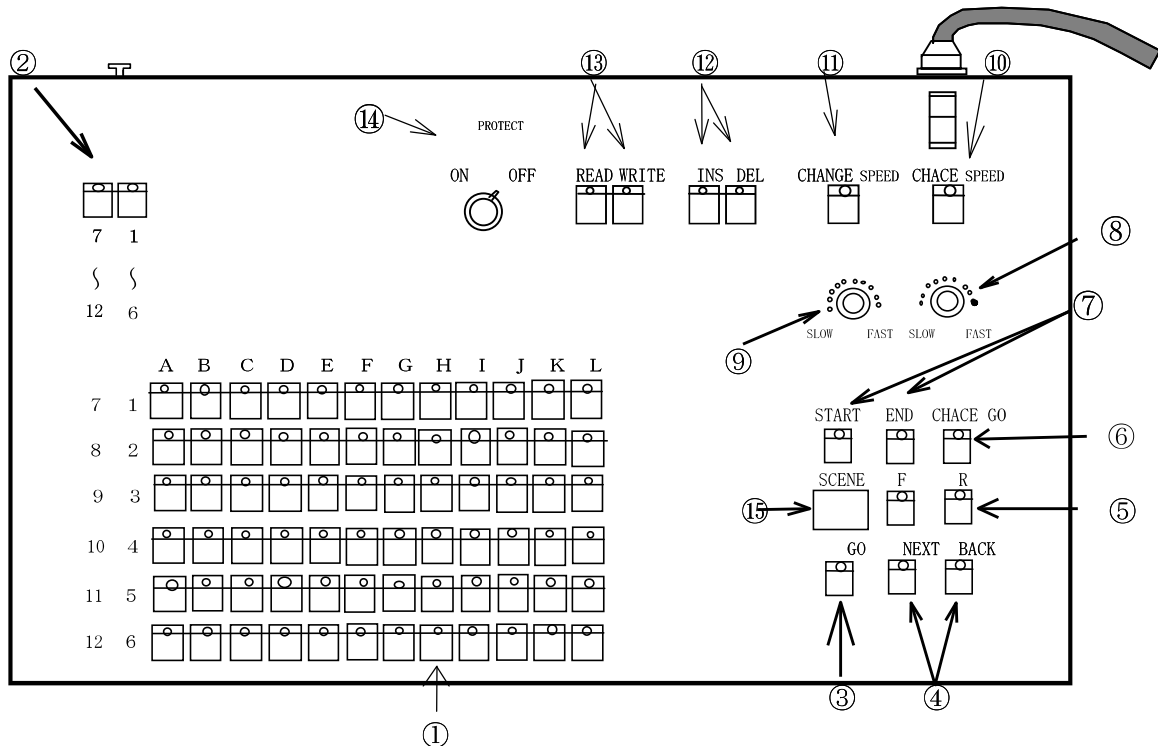
本体重量は 65Kg (C-平行のパッチ含む) で、電源BOXは 4.5Kg です。

寸法は本体が 1200×1200×340 で、電源BOXが 250×340×165 です。

## ★コントローラー★

コントローラーはカラーチェンジャーの専用卓ですので、他の“スクローラー”等は操作できませんが、当社のカラーチェンジャー（前記4サイズ・8種）であれば全て操作出来る『マリーン』タイプと、センサーレスタイプ以外のC/Cのみを操作できる『Lee』タイプが有ります。

『マリーン』タイプと『Lee』タイプは殆ど同じ操作ですが、『マリーン』にはセンサーレスタイプのチェンジャー用のカラーポイント調整モードが備わっています。



信号は専用信号KMXを使用し、各コントローラーに 2 口の 3 P キャンオンコネクタが用意されています。1 系統につき (通常) 3 2 台まで使用できます。3 2 台以上の C / C を使用する場合には、信号増幅器の『リピーター』と云うものを使用すれば問題ありません。リピーターも 3 2 台ごとに増やします。(台数が少なくても、信号線の引き回しが長い時にはリピーターを使用する方が良い場合もございますのでご相談下さい。)

中には旧型を改造して使用しているコントローラーもありますので多少盤面の配置・配色が違っていてもありますが、操作方法は殆ど変わりありません。

1 ページにつき 9 9 シーン 記憶させる事ができ (チェイスは 1 ステップで 1 シーン使います)、1 2 c h のタイプは 5 ページ、3 6 c h のタイプは 2 ページ 記憶できます。チェイス数の制限はありませんが、先程も触れた様に “1 つのチェイスで 1 シーン” では無く、“1 つのステップで 1 シーン” になりますので、それだけご注意下さい。

本体寸法は 3 8 0 × 2 4 0 × 9 5 mm です。

それでは各スイッチなどの説明に入りたいと思います。

① **A** ~ **L** (色選択ボタン)

色を選択するボタンです。チャンネルセレクトスイッチで選択したチャンネルが同時に 6 ch 操作出来ます。

② **CHANNEL SELECT** ボタン

色選択ボタンで操作するチャンネルを選択するスイッチです。6 ch 分ずつの切り替えになります。

③ **GO** ボタン

実行ボタンです。予めプログラムしておいたシーンを実行させる時に使用します。**F/R** ボタンで次のシーンを呼び出してから **GO** ボタンを押して実行させます。続けて **GO** ボタンを押すとシーンが順次実行されて行きます。

④ **NEXT** と **BACK** ボタン

シーンの順送りの実行ボタンで **NEXT** ボタンは現在実行されているシーン No. + 1 のシーンを、**BACK** ボタンは現在実行されているシーン No. - 1 のシーンを、順次実行します。

※GO ボタンとの違い

**GO** ボタンで実行時の C / C はシーンにメモリーされているスピードで作動しますが、**NEXT** / **BACK** ボタンでの実行時はボリューム値で作動します。

⑤ **F/R** ボタン

シーン No. 選択ボタンです。(BLIND モードになります) **F** ボタンでシーン No. + 1 **R** ボタンでシーン No. - 1 の呼び出しになります。シーン実行中でも他のシーンを呼び出して修正する事が出来ます。

⑥ **CHASE GO** ボタン

チェイスの実行ボタンです。このボタンを押すと LED が点灯し、押された時のシーンからスタートボタンが押されているシーンとエンドボタンの押されているシーンの間をチェイスし始めます。再度押すと、押された時のシーンが実行されている状態でチェイスが停止します。

⑦ **START** / **END** ボタン

チェイスのスタートマークとエンドマークの入力ボタンです **START** / **END** ボタンが押されているシーンが選択されている時 (実行中 / BLANK 呼び出しに関わらず) LED が点灯します。

⑧ **CHASE SPEED** 設定ボリュームスイッチ

チェイスのステップを送るスピードの設定をするボリュームです。

⑨ **CHANGE SPEED** 設定ボリュームスイッチ

C/Cのスクロールスピード（ローラーの回転速度）設定をするボリュームです。

⑩ **CHASE SPEED** ボタン

チェイススピードのメモリーボタンです。このボタンでチェイスのステップスピードを(各シーンに)メモリーします。

⑪ **CHANGE SPEED** ボタン

C/Cのスクロールスピード（ローラーの回転速度）のメモリーボタンです。このボタンで各シーンにスクロールスピードをメモリーして行きます。

⑫ **INS** / **DEL** ボタン

シーンの挿入／削除ボタンです。シーンを挿入したい時に **INS** ボタンを押してインサートモードにします。シーンを削除したい時には **DEL** ボタンを押してデリートモードにします。それぞれのモード中には各ボタンのLEDが点灯します。

⑬ **READ** / **WRITE** ボタン（旧型の卓では **SAVE** / **LOAD** ボタンです）

打ち込んだデータを一時的にバックアップ用不揮発メモリー（EEPROM）に書き込み／呼び出しするボタンです。 **WRITE** ボタンは⑫のインサート／デリートモードでも使用します。

⑭ **PROTECT** スイッチ

打ち込みのプロテクトスイッチです。これをONにしておくとメモリーしたデータを誤って壊す事を防ぎます。実行以外の操作（書き込み・修正）は禁止されます。

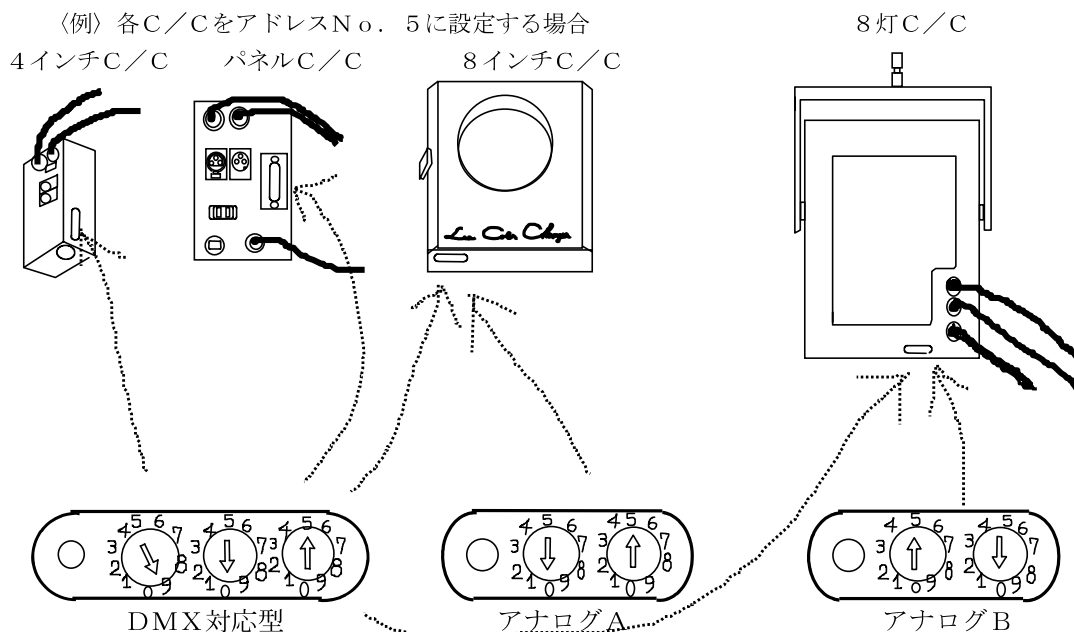
⑮ SCENE No. 表示窓

現在実行中のシーン又はBLINDで呼び出しているシーンのシーンNo.を表示します。実行されているシーンの場合は普通に表示されますが、BLINDで呼び出しているシーンの場合はシーンNo.が点滅します。

それでは仕込みについての説明に入りたいと思います。

## 仕込みについて

- ①カラーチェンジャーの本体 又は電源BOXにアドレス設定チャンネルが付いています。専用コントローラーでしか動かせないタイプのものは2桁、DMX信号で操作出来るものには3桁のスイッチが付いていますので、これを設定したいアドレスに合わせます。DMX対応型と非対応型の両方がある機種もありますので、3タイプのアドレススイッチの説明を下図でご覧下さい。



※DMX対応型・・・3桁のアドレス設定になっており、LEDグリーンランプ側を百の桁とする。専用卓を使用する場合は「901」がアドレスNo.1になる。「900」番台が専用アドレス。DMX卓を使用する場合には100chごとにスピード調整をしなくてはならないので「100」、「200」の様に100chごとの「0」番を空けて「101」や「201」から始める。(100や201...はスピードチャンネルとして使用する為)※但し、1～99番で使用する場合には、No. 0が無い為、この番台だけは001がスピードチャンネルになっております。

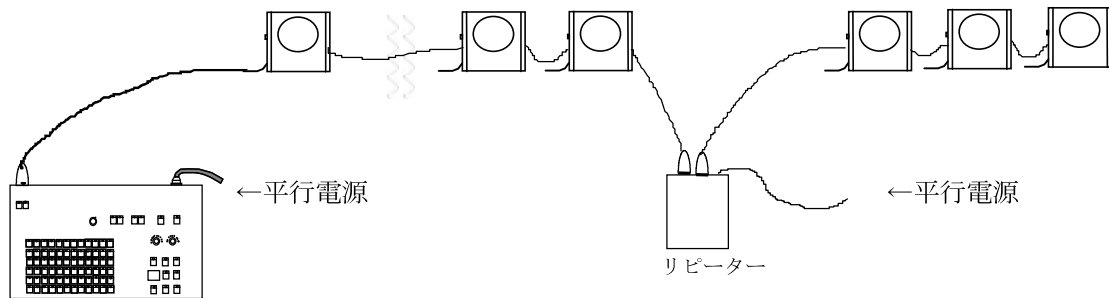
※アナログA・・・2桁のアドレス設定になっており、LEDグリーンランプ側を十の桁とする。専用卓でしか操作できない為アドレスは普通に「01」から設定する。(8インチC/CのHigh-Lowタイプがこれにあたる)

※アナログB・・・Aと同じく2桁のアドレス設定ではあるが、LED側が一の桁になっている。これも専用卓での操作になる為「01」から順にアドレスを設定すれば良い。(8灯C/CのHigh-Lowタイプがこれにあたる)

- ②4インチと8インチのC/Cは灯体にセットして下さい。落下防止用ヤイヤーも忘れずに使用して下さい。

- ③コントローラー側に3Pキャノンのオス口が向かう様にしてC/Cを3Pキャノンでつなぎます。

違うアドレスに設定してあるC/Cと同じ回線でスルーにして問題ありませんし、違うタイプのC/Cとつないでも大丈夫です。30台以上のC/Cを使用される時や、3Pキャノン(信号線)の引き回しが長い時には、先にも触れましたが「リピーター」と云う信号増幅器を入れます。



- ④カラーチェンジャーはモーターを使用していますので、必ず直電源でご使用下さい。10台程度でしたら本体(又は電源BOX)に付いているサービスタブを使用してジャンプさせても大丈夫です。電源を入れると全てのタイプのC/Cがフィルターロールの一番始めまで一旦巻き戻ります。そしてアナログタイプとDMXタイプは1色目に、センサーレスタイプは最後の色まで巻き、色の長さを読み取って1色目に戻ります。(この初期動作をするか必ず確認して下さい。初期動作をしないものはフィルターがはずれていたり、何かしらの設定ミスや故障を抱えていると思われます。)
- ⑤カラーチェンジャーが正常に初期動作をして3Pキャノンを全てつなげられたら、専用コントローラー(又はDMX卓)につないで下さい。卓からの信号が伝わると本体のアドレス設定スイッチの隣にあるLEDが点灯します。点滅している場合は3Pキャノンがリーク又は断線していると思われるので確認して下さい。(※点滅しているC/Cに入っているキャノンとは限りません)
- ⑥コントローラーにデータを入力します。コントローラー上部に「PROTECT」スイッチが付いているので、それをOFF(又はWRITE)にします。鍵の切り替えスイッチになっているものとつまみのスイッチになっているものがあります。PROTECT OFF(又はWRITE)で入力モードになります。
- ⑦コントローラー右側に「SCENE」と記された表示窓が付いています。この中に表示されている数字がその時実行されているシーンNo.です。データを作る時には、まずその表示窓に「01」が表示されているかを確認して下さい。(電源を入れただけの状態でしたら必ず01になります)
- ⑧コントローラー左側のたくさんのボタンが色を選択・指定するボタンです。コントローラー上にはA~Lまでの12色分が6列並んでいます。36chのタイプのもは、カラー選択ボタンの右にある「チャンネル選択ボタン」を押して1~6chか、7~12chか、. を選びます。12chにも同じタイプのチャンネル選択方法のものと、カラー選択ボタンの左上にあるディップスイッチで切り替えるタイプがあります。各アドレスの列の色(A~L)のボタンを押すだけで(特にメモリーKey等を押さずに)メモリーされます。例えば、アドレスNo.1のC/Cを2色目にする時には「1」と記された列の「B」を押して下さい。これでアドレスNo.1はそのシーンで2色目の色になる様にメモリーされました。
- ⑨全部のアドレスの“あるシーンの色”を全て設定し終わったら、実際にC/Cを動かしながらシーンを組む場合には「NEXT」を、動かさずにBLANK状態でシーンを組むには「UP/F」を押してシーンを進めます。(正確にはこの時点で前のシーンがメモリーされます。)
- ⑩新規に作成するシーンになると、自動的に全てのアドレスの色が“A(一色目)”になります。またそのシーンの色を設定して行って下さい。

⑪途中でチェイスを組む場合には1シーンが1STEPになりますので、それを考慮して打ち込みをして頂く必要があります。チェイスの1STEP目のシーンを組む時には、コントローラー盤面の右にある「START」ボタンを押して下さい。これがチェイスの目印になります。チェイス最後のSTEPでは「END」ボタンを押して下さい。

⑫もし1色目から12色目までのチェイスを作成する場合には、普通に1～12のシーンを作っただけでは「1→2→3・・・10→11→12——→1→2・・・」の様にカラーチェンジ時間が同じでは無くなってしまいます。一番最後から頭まで巻き戻す場合と隣の色に移る場合では、やはり多少時間のズレが生じますし、実際にライトを点灯している間に「12→1」の動きは辛いものがありますので、「1→2→3・・・11→12→11→10・・・3→2」の様に色を戻す時にもSTEPを組んだ方がよいと思われれます。

〈例〉 STEP : 1 C (START) (左のチェイスを実行すると・・・)  
 STEP : 2 D  
 STEP : 3 E C→D→E→F→G→C→D→・・・  
 STEP : 4 F  
 STEP : 5 G (END) と、なります。

STEP : 1' A (START) (左のチェイスを実行すると・・・)  
 STEP : 2 B  
 STEP : 3 C A→B→C→B→A→B・・・  
 STEP : 4 B (END) と、なります。

⑬もし途中でシーンの割り込みをさせる必要がある場合は、まずは「INS」ボタン(又は「GO」+「INS」このタイプは盤面にテプラを貼ってあります。)ボタンを押して下さい。そして挿入したいシーンのNo.を呼び出して(「BACK」若しくは「R/DOWN」ボタンでシーンを戻します)下さい。普通にシーンを組んでからマリン卓の場合は「WRITE」ボタンを押して「INS」ボタンを、違うタイプの卓であれば「GO」+「INS」ボタンを押してインサートモードを終了します。割り込ませた後のシーンは順次繰り下がりますので、99シーンまで使用していた場合は最後の1シーンが消えてしまいますのでご注意ください。

〈例〉シーンNo.97にLを挿入すると、最初にNo.99に入っていた"O"が繰り下がって消えます。

シーンNo.	シーン
シーンNo. 95	J
シーンNo. 96	K
シーンNo. 97	M
シーンNo. 98	N
シーンNo. 99	O

シーンNo.	シーン
シーンNo. 95	J
シーンNo. 96	K
シーンNo. 97	L
シーンNo. 98	M
シーンNo. 99	N

⑭削除したいシーンが生じた場合は「DEL」又は「GO」+「DEL」ボタンを押してデリートモードにして下さい。挿入の時と同様にモードを変更してから削除したいシーンNo.を呼び出します。マリン卓は「WRITE」ボタンを押して「DEL」ボタンを、その他の卓では「GO」+「DEL」ボタンでデリートモードを終了します。すると削除したシーンの後にあったシーンが順次繰り上がります。

〈例〉シーンNo.96のNを削除すると、次のシーンだったMがシーンNo.96になります。

シーンNo.	シーン
シーンNo. 95	L
シーンNo. 96	N
シーンNo. 97	M
シーンNo. 98	N
シーンNo. 99	O

シーンNo.	シーン
シーンNo. 95	L
シーンNo. 96	M
シーンNo. 97	N
シーンNo. 98	O
シーンNo. 99	空き

⑮シーンNo. 9 9まで組み終わったり、そのページ分の打ち込みが終わった場合にはデータ書き込みをします。12chタイプは5ページ、36chタイプは2ページのメモリーが可能です。メモリーを入れる場所は、各コントローラーの色選択ボタン“A”の列（縦）の1ch～5ch（又は～2ch）のボタンになります。マリン卓の場合は「WRITE」ボタンを、その他の卓の場合は「GO」+「SAVE」ボタンを押して下さい。すると色選択ボタン等のLEDランプが消灯します。これがメモリーモードです。次に1ページであればAの1chのボタンを押して下さい。押したボタンのLEDが点灯し、データを書き込みます。約30秒程して色選択ボタンなどのLEDが再び点灯したらメモリー完了です。この様にして各ページをメモリーしてから次のページに進んで下さい。この様にして書き込んでしまえば電源を落としてもデータが飛ばずに記憶されています。

⑯打ち込みが終了したらコントローラー盤面の中央上にある「PROTECT」切り替えスイッチを「ON」（鍵のタイプは「PROTECT」）に切り替えて下さい。これで色選択ボタンに触れてもデータに支障をきたしません。

⑰オペレートする段階になりましたら、1ページ目のシーンNo. 1を呼び出します。まず「PROTECT」を解除してからマリン卓の場合は「READ」ボタンを、その他の卓の場合には「GO」+「LOAD」ボタンを押して下さい。書き込みの時と同じ様に色選択ボタンのLEDが消灯します。但し、メモリーを入れたページのボタンのLEDだけは点灯します。1ページを呼ぶにはAの1を押して下さい。瞬時にそのページのシーンNo. 1が盤面に呼び出されます。

⑱チェイスを使用する予定がありましたら、必ず盤面右側にある「RUN」ボタン又は「CHASE GO」ボタンを押してLEDを点灯させて下さい。これをONしておかないと、チェイスのシーンになってもチェイスが走らずに普通のシーンと同じ様になってしまいます。そしてシーンNo.表示窓の下にある「GO」ボタンのLEDも点灯させて下さい。（点灯しているシーンが実行されます。BLINDモードで打ち込みをしていた場合には特にご注意下さい。）

⑲実行する時には「NEXT」・「BACK」ボタンを使って実行させます。数シーン飛ばす時には他のシーンを実行している間に「F/UP」・「R/DOWN」ボタンでシーン呼び出します。この時、「GO」ボタンのLEDが消灯します。これがBLINDモードになっている目印です。実行させるには「GO」ボタンを押して下さい。そしてページを移る時にも、前のシーンを実行中に「READ」・「GO」+「LOAD」ボタンを押して次のページを呼び出して下さい。自動的にBLINDモードに切り替わりますので「GO」ボタンで実行させて下さい。

※チェイスを実行中に「RUN」・「CHASE GO」ボタンを押すとその時実行中のシーンで停止します。マリン卓の場合は「NEXT」・「BACK」ボタンを押してもそのシーンで停止します。マリン卓以外の場合は「NEXT」ボタンを押すとチェイスの「END」STEPの次のシーンに、「BACK」を押すとそのチェイスの「START」STEPの前のシーンに移ります。

### DMXタイプのカラーチェンジャーのみを使用する時

#### ◎カラースピードをメモリーさせる事が出来ます。

通常カラースピードはボリュームスイッチで調整する事になりますが、DMX卓で操作出来るタイプの（アドレス設定スイッチが3桁のもの）C/Cに限ってはカラーチェンジスピードをメモリーさせる事が出来ます。（但し“一部分だけ”では無く、全てのシーンで設定しなくてはなりません。）

- 1) 普通にシーンを組み始めて下さい。1シーン目から最後のシーンまで全てに渡ってこの後の設定を行なって下さい。色を選択したら盤面の右側上部にある「CHANGE SPEED」ボタンの所にあるボリュームでスピードを設定してからボタンを押して下さい。本当ならそのボタンのLEDが点灯するのですが、実際には基盤の配線漏れで点灯しません。1回押すとメモリー状態になり、もう一度押すと解除されます。

- 2) 「NEXT」 ボタンでシーンを送って次のシーンの色を選択して下さい。そしてまた「CHANGE SPEED」のボリュームでスピード設定をして、ボタンを押して下さい。
- 3) 全てのシーンを組み終えて書き込みも終了したら、オペレーション時の注意があります。スピードを設定した場合には、「F/UP」と「R/DOWN」ボタンで次のシーンをスタンバイしてから「GO」ボタンで実行させて下さい。「NEXT」・「BACK」ボタンを使用してしまいますと、ボリュームスイッチの方が優先されます。ボリュームスイッチは最低に絞ってから実行して下さい。

◎チェイススピードをメモリーさせる事が出来ます。

通常チェイススピードはボリュームスイッチで調整する事になりますが、DMX卓で操作出来るタイプの（アドレス設定スイッチが3桁のもの）C/Cに限ってはチェイススピードをメモリーさせる事が出来ます。（但し“一部分だけ”では無く、全てのシーンで設定しなくてはなりません。）

- 1) 普通にSTEPを組み始めて下さい。チェイスの部分の1 STEP目から最後のSTEPまで全てに渡ってこの後の設定を行なって下さい。色を選択したら盤面の右側上部にある「CHASE SPEED」ボタンの所にあるボリュームでスピードを設定してからボタンを押して下さい。本当ならそのボタンのLEDが点灯するのですが、実際には基盤の配線漏れで点灯しません。1回押すとメモリー状態になり、もう一度押すと解除されます。
- 2) 「NEXT」 ボタンでシーンを送って次のSTEPの色を選択して下さい。そしてまた「CHASE SPEED」のボリュームでスピード設定をして、ボタンを押して下さい。
- 3) 全てのシーンを組み終えて書き込みも終了したら、オペレーション時の注意があります。スピードを設定した場合には、「F/UP」と「R/DOWN」ボタンで次のシーンをスタンバイしてから「GO」ボタンで実行させて下さい。「NEXT」・「BACK」ボタンを使用してしまいますと、ボリュームスイッチの方が優先されます。ボリュームスイッチは最低に絞ってから実行して下さい。

### DMX卓での操作について

アドレス設定スイッチが3桁のC/Cは全てDMX卓で操作する事が出来ます。8インチ×2タイプ、4インチ、8灯ミニブル付き×1タイプ、パネルライト—— が、そうです。

これらのC/Cの操作方法は全て共通ですので、専用コントローラーを使用する時と同じ様に他の種類のC/Cと一緒に使用したり、同じアドレスに設定しても問題ありません。

- ①アドレスを設定します。専用コントローラーを使用する時は百の桁を“9”にしましたが、DMX操作の場合はアドレスNo.そのままの数字で設定します。〈例〉アドレス7→“007”  
但し、101～200番台は「100」を、201～300番台は「200」を. . . と、云う様に“100”ごとに0番をスピード調整用アドレスとして空けて下さい。**※1～100番台だけは0が有りませんので「1」がスピード調整アドレスになります**  
ですから、一台目のC/Cは「101」や「201」、「002」になります。
- ②灯体にセットするタイプは灯体に取り付けて3Pキャノンコードで信号回線をつなぎ、純直回路で電源を取って下さい。仕込み方は専用コントローラー使用時と同じです。

③DMXで操作する時のカラーポイントレベルを図の様にします。

	1色目	2色目	3色目	4色目	5色目	6色目	7色目	8色目	9色目	10色目	11色目	12色目
8インチ・DMX	0	20	40	53	59	65	70	78	83	88	94	100
8インチ・SR	0	11	32	51	57	63	70	76	82	88	93	98
4インチ	0	20	40	53	59	65	70	78	83	88	94	100

	1色目	2色目	3色目	4色目	5色目	6色目	7色目
8灯ミニ	0	3 0	5 6	6 7	7 9	8 7	1 0 0
パネルライト	1	3 0	5 6	6 6	7 7	8 7	9 7

④後は普通にデーターを作ってください。

#### センサーレスタイプのフィルター調整について

8インチのC/Cに「Marine」と書いてあるものがセンサーレスタイプで、パネルライトもセンサーレスタイプのC/Cです。これらのC/Cはカラーポイントで色位置を合わせています。

フィルターは使用しているうちに少しずつ縮んだり巻き太ったりしますので、時々色位置を修正しないと隣の色が混ざり込んでしまいます。その様な時に行って頂きたい操作を下に書きます。

- 1) **CHASE GO** ボタンを押しながらコントローラーの電源を入れます。
- 2) 暫くするとシーンNo.表示窓の表示が「01」から「—」になります。これがカラーポイント入力モードです。
- 3) 修正したいアドレスNo.の修正したい色番号を**色選択ボタン**で選びます。(この時複数のチャンネルを同時に選択する事も出来ます。) 選ばれたアドレスのC/Cは、その時のカラーポイント位置に移動します。
- 4) **F**/**R** ボタン, 若しくは**CHANGE SPEED** ボリュームと**CHASE SPEED** ボリュームを使用して(ボリュームを使用する時は**GO** ボタンを押して下さい。) 色位置を調整します。
- 5) 全ての調整を終えたら、**WRITE** ボタンを押して下さい。これで修正したカラーポイントが不揮発メモリー (EEPROM) に書き込まれ、通常の状態モードに復帰します。

#### カラーポイントの初期化について

センサーレスタイプのC/Cをカラーポイント調整して使用していて、色位置を元に戻したい場合には初期化を行なう必要があります。例えば、2色を半分ずつ混ぜて使用していたものを普通の1色ずつの使用に戻す時等も初期化をして頂く事になります。

- ① **CHASE GO** ボタンを押しながら電源を入れます。
- ② 暫くするとシーンNo.表示窓の表示が「01」から「—」に変わります。これがカラーポイント入力モードです。
- ③ **DEL** ボタンを押して下さい。これでカラーポイントが初期化されました。
- ④ **WRITE** ボタンを押して下さい。初期化したカラーポイントが不揮発メモリー(EEPROM)に書き込まれます。暫くすると通常の状態モードに復帰します。

# カラーチェンジャーのDMX使用時のアドレス設定について

4インチカラーチェンジャー、8インチカラーチェンジャー、8灯ミニブル付カラーチェンジャーや、パネルライトチェンジャーは、専用コントローラーだけではなくDMX卓でも操作する事が可能です。

DMXでのパラメーターは“スピードチャンネル”と“カラーチャンネル”の2チャンネルだけなのですが、スピードチャンネルが特殊な設定になります。カラーチェンジャー全てが共通の設定となりますので、以下をご参照下さい。

基本的な考え方として、「1つのスピードチャンネルで100台分のスピード設定が出来る」を目指して作成されました為、ムービングなどと違って1台ごとにスピード設定をする必要がありません。

その代わりに、100番ごとの一番初めのアドレス“●00”がスピードチャンネルに設定されます。(但し、1～99迄の桁では“001”がスピードチャンネルになります。)

カラーチェンジャー自体のチャンネルはスピードアドレスの後からスタートして下さい。

アドレス	スピードチャンネル	灯体アドレス
001～099	001	002～099
100～199	100	101～199
200～299	200	201～299
300～399	300	301～399
400 …	400 …	401 …

例> カラーチェンジャーを頭から20台使用する場合

スピードチャンネル:001

カラーチェンジャーのアドレス:002～021

例> カラーチェンジャーをアドレス190から20台使用する場合

スピードチャンネル:100, 200

カラーチェンジャーのアドレス:190～199, 201～220

例> カラーチェンジャーをアドレス350～360の10台で使用する場合

スピードチャンネル:300

カラーチェンジャーのアドレス:350～360

———以上の様に、必ずその桁の最初のアドレスをスピードチャンネルとして使用しなくてはなりません為、カラーチェンジャー以外の機材と同じ回線で使用されます場合は紛らわしいのですが、アドレスが重なりません様にご注意下さい。

## 8灯C/C High-Lowタイプの信号変換機使用時のご注意

High-Lowタイプは本体にてスピードを切り替える形式ですので、こちらの変換機をご使用の際は、スピードチャンネルがございません為、パラメーターは色のみの1chになります。

変換機にてご使用のアドレスを設定して頂きますと、そのアドレスからのスタートとなります。ここからアドレスを変えて何台か使用されます場合は、8灯C/C本体のアドレスの設定が必要になります。

この信号変換機から送信されますカラーチェンジャー用の専用信号自体は、1番から送信されるシステムになっておりますので、灯体のアドレスを01から設定して下さい。01に設置しました灯体の変換機で設定しましたDMXアドレスになります。

<例>  
DMXアドレスが005~010の場合  
変換機のアドレス → 005  
8灯C/Cのアドレス → 01~05

<例>  
DMXアドレスが101~103の場合  
変換機のアドレス → 101  
8灯C/Cのアドレス → 01~03

DMXアドレス設定方法 (MENU) → Spot. dと表示が出る → (ENT) → (△)と(▽)でアドレス設定 → (ENT)

